

私はこの本を読んだとき、研究主題と、「東っ子学習アンケート」が頭に思い浮かびました。

この本の中では、「セレンディピティ」にも少し触れています。セレンディピティとは、「思いもよらなかった偶然がもたらす幸運」を意味する言葉です。さらには、「幸運な偶然を引き寄せる能力」という意味で使われることもあります。本の中では、『セレンディピティのチャンスが得られるのは必死になって考えたから。』と書いてあり、ふと自分の授業で子どもたちが「セレンディピティ」を感じたことがあるのかなと、考えさせられました。自分の授業は、子どもたちが必死に考えることができる仕掛けや働き掛け、構成、手立てが適切なのかということです。

また、自分がどういうときに「学ぶことがたのしい」と思えたのか、振り返ると、小学生でも、中学生でも、高校生でもなく、大学生のときでした。はじめて勉強が楽しいと思えたのは、自分が興味のあることを学ぶ機会に出会うことができた、そして、その選択を自分がすることができたからです。考え方は様々だと思いますが、子どもたちがこの先に出会うかもしれない「学ぶのがたのしい」という感情は、きっと、基礎学力があり、受験勉強を乗り越えた先のものであると思います。だから、その選択が子ども自身が主体的に選択できるようにするのが、教師の役目なのかなと考えさせられました。

『教養を身につけると何気ない出会いが豊かな出会いに変わります。別々だった世界は、実は何層にも重なり合っていることに気づきます。その深く味わいのある喜びをぜひ体験してください。』

前時の学習で学んだことが活かすこと、前学年のときの学習がつながっていることに子どもたちが気付いたら、きっと「あ！」という喜びを感じるということですよ。そして知識も深くなる。だから、毎時間毎時間の授業は大切なのだと改めて感じました。

きっと、子どもたちが授業の中で、学ぶことが面白いと思えるようになったらもうしめたものです！おもしろいことは長続きします。あとは放っておいても自分から学んでいくようになると思います。（そうではない子どももいるのも現実ですが・・・）子どもたちが小学生のときにそういう「おもしろいこと」を一つでも見つけて、それを深く掘り下げたり、それに関わるテーマに興味や関心を広げていったりしたら、年を重ねるごとに教養が身についていくのではないかと思います。

今の子どもたちが先生方の授業でどんなときに「たのしい」と感じるのか、ぜひアンケートで読み取ってください。

【東っ子学習アンケート】

実施期間：9月19日（火）～22日（金）

※運動会練習で、お忙しいと思いますが、期限厳守でよろしく願います。

☆Cha Cha Cha☆

研究通信 No. 19
令和5年9月20日(水)
文責：奥山

《なんのために学ぶのか》

みなさん、3連休はいかがでしたか。1日長いだけでもゆっくりできますね。3連休大好きです。

今週の「Cha Cha Cha」は、研究主題「学びをたのしみ、自らを高め続ける児童生徒の育成」について、池上彰著「なんのために学ぶのか」を読んだことをもと、文章を抜粋して、書かせていただきます。この本は、ノートルダム清心女子大学で行われた、大学に入りたての学生を対象に話した内容をもとに構成されています。

一部抜粋

『教員志望の人は、教員になったら子どもたちに学びの楽しさを伝えて先進国病を乗り越えてほしいですね。学校の先生になろうと思ったからには、どこかで学ぶことの楽しさや先生の素晴らしさを知るという体験があったはずです。自分がどういうときに「勉強するって楽しい」と思ったのか。その原点に帰って、それを子どもたちに伝えていけば、子どもたちも素直に受け入れられるのではないのでしょうか。』

『知識を伝えるのではなく、何よりも楽しさを伝えることです。これまで知らなかったことを知ることによって視野が大きく広がっていった体験を子どもたちに伝えて、子どもたちにも同じ体験をさせていく。そうすることで、学ぶことは楽しいと実感させてあげることが大切です。』

▼東っ子学習アンケート質問項目

質問項目：あなたは、担任の先生の授業の
どんなときが「たのしい」と感じますか？(図いくつでも)

- ・ わかった・できた(せいはいした)とき
- ・ 「なぜ?」「どうして?」とおもったとき
- ・ みんなでかんがえるとき
- ・ 学んでいたことが つぎにつながったとき
- ・ じぶんのかんがえが あいてにつたわったとき
- ・ 「もっと〇〇したい!」とおもったとき
- ・ じゅぎょうのじかんが たりないと おもったとき
- ・ あたらしい はっけんが あったとき
- ・ たのしいとかんじない

質問項目：新しいことに挑戦してみようと思えますか?

- ・ とてもおもう
- ・ すこしおもう
- ・ あまりおもわない
- ・ ぜんぜんおもわない

